



日本防災士会福井県支部

福井県防災士会会報

第23号

2019.5.26

「2018通常総会」を開催

2018年6月3日(日)、福井駅前ハピリン4階に於いて2018年度通常総会が開催された。福井県防災士会黒川理事長の挨拶に続き、来賓の福井県安全環境部危機対策・防災課谷口竜哉課長及び福井市市民生活部危機管理局丹尾信一局長より福井県防災士会が創立10周年を迎えたことを含めた祝辞を賜った。総会冒頭、会員181名の内、総会出席者が35名であり、委任状82通が届いている旨事務局より報告があった。西端理事進行のもと、福塚理事が議長に選任され、平成29年度の活動報告、同決算・監査報告、平成30年度活動計画等の説明があり、質疑応答を経て満場一致で承認された。出席した会員からは積極的意見が出され、盛会の内に終了した。



▲2018年度通常総会の様子



▲黒田氏による特別講演の様子

総会の後には、NPO防災士会みやぎ副理事長を務めるフリーアナウンサーの黒田典子氏を講師に迎え、「東日本大震災からこころの復興をめざして」と題した特別講演会が開催された。黒田講師は「防災絵本リオン」を題材に、子どもへの防災教育の重要性を中心に話しされ、会場が熱い空気に包まれた。

講演後には、別会場にて懇親会が開催され、特別講演講師等も交えて防災・減災の話題で盛り上がりを見せた。

福井ぼうさいの仲間 #22

氏名 西端 正和 (にしばた まさかず)

職業・勤務先 全労済石川推進本部

防災士になるきっかけは？

2007年に全労済福井に勤務していた際、当会で「防災士養成講座」を開催することになり、事前に事務局員として金沢市で養成講座を受講しました。そこでの講座と研修では「こんなに世の中が危険だったんだ」と感動すら覚えた記憶があります。

防災士になって、良かったと思うことは？

仕事として防災にかかわることになりましたが、それ以上に防災士の社会的な意義を感じることであり、ライフワークとして取り組めるテーマとなりました。多くの防災士の仲間(飲み!?)ができたことが長く取り組んでいける秘訣だと思っています。

防災士として取り組んでみたいことは？

知識はもちろんですが、仕事柄、実際の防災現場でのスキルがないので、積極的に被災現場での知識を身につけたいです。

防災士以外であなたの「得意なこと」や「日頃がんばっていること」は？

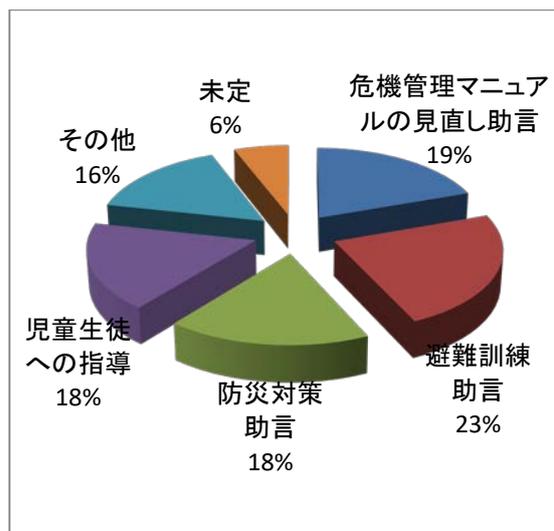
得意とは言えませんが、「蕎麦」には長年ハマってます。「どこどこにうまい蕎麦がある」と聞けば行かずにはおれません。いい温泉と蕎麦があればサイコーです。

2018 年度福井県学校防災アドバイザー派遣について

福井県防災アドバイザー派遣事業は、福井県教育庁が中心となり平成 24 年度より実施され、6 年が経過した。

2018 年度は新しい取り組みとして「学校管理職、安全担当教諭等、市町教育委員会関係者」を対象としてサンドーム福井・小ホールに約 300 名が集結し、グループ討議を実施した。教育関係者に防災・減災の啓発を促すことが出来たことは意義深いと思われる。

しかし、学校防災アドバイザーの人員も少なく、助言内容の統一化にも課題を抱えているところである。学校防災アドバイザー養成講座や指導内容の充実を今後も図っていくことが重要である。派遣要請する教育現場環境も毎年々変化している。担当教職員の異動による防災・減災意識の停滞もある。学校は発災後に「避難所」にもなりうることや、一言で「学校」と言っても在籍する「生徒数」も「立地場所」も異なる。このような課題・問題については会員同士あるいは他県・連絡協議会の防災士との知識・事例を共有し、これまで以上に多くの学校防災アドバイザー



▲学校防災アドバイザーへの依頼内容について

を養成していく必要があると考えられる。

2018 年度は 27 校(内 11 校は気象台が実施)に学校防災アドバイザーを派遣した。アドバイザー依頼内容構成については上のグラフを参照されたい。当事業開始初年度から見ると依頼内容構成も変わってきている。また、地区の教頭会などからも要請を受けている。地域連携の面からは好ましい状況である。

地区防災計画制度と自主防災計画とはここが違う！

地区防災計画は、行政区域に関わりなく、集落や商店街、自治会など地区単位で居住者や事業者が自発的に防災活動に関する計画を定めるもの。似たような計画に自主防災組織がつくる「自主防災計画」があるが、地区防災計画は行政が作成する地域防災計画の中に規定されることで確実な実施が期待できる点が大きな違いである。近くに、以下のような良い事例がある。



▲県境を越えた防災と地域活性化(加賀市三木地区)

「防災・減災フェア」に出展

2019 年 3 月 21 日(祝)、「家族でまなぶ! 防災減災フェア 2019」が福井市ハピリンホール・ハピテラスにて行なわれ、福井県防災士会は「担架による搬送体験」に関するブースを出展した。福井駅前での開催となったことから、小学生からご家族、女性の方など多数の方にご参加いただいた。今後内容をより充実させるためにも、会員の皆様の参加・協力をお願いしたい。



▲福井県防災士会ブースの様子

◇福井県内の会員数◇

(2019 年 3 月末日現在)
 福井県防災士会員 215 名
 (特別会員等を除く)
 日本防災士会員(県内) 121 名
 防災士(県内) 3,092 名
 防災士(全国) 170,756 名

編集担当 福井県防災士会 広報・啓発担当

住 所 〒916-8507 福井県鯖江市下司町

福井高専環境都市工学科内

E メール bousaisi@fukui-nct.ac.jp

Web サイト <http://toshichan.be.fukui-nct.ac.jp/bousaisi/>